

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本

NO, 4

2020年 1月 11日

2020年3月ダイヤ改正 支社提案 受ける！

2020年1月10日 「2020年3月ダイヤ改正 支社提案」を受けました。

地本は関係分会・組合員と連携し「安全・安定・快適・お客様が利用しやすい施策」とすることはもとより、施策を担うすべての労働者の労働条件の向上・労働環境の改善を目指し取り組みを展開します。『皆さんの声が大きなカギ』になります協力をお願いします。

《提案時の私たちの意見》

- ① 「ダイヤ検討委員会」はその機能を果たしているか?社員の声がダイ改に反映されているか?
- ② クロスを基にした行路の見直し案を提示したい。
- ③ 拘束時間の拡大やロングランで「安全」は保てるか?
- ④ 中央線の「快速・緩行分離」で、お客様の誘導・情報提供はどうするのか?
- ⑤ 中央線特急列車での「車掌一人乗務」は大丈夫か?駅設備など問題はないか?
- ⑥ 要員的に厳しい職場は?その対策は?



《提案時の支社側の説明》

- ① 各区所で活動している、社員の声を聞くことは重要と考える。
- ② 行路変更のリミットは2月上旬である。
- ③ 時間や距離が伸びたことと安全については、一概にはとらえていない。
- ④ 案内・情報提供には“アプリ”が活用できる。
- ⑤ 常磐線特急列車を参考に駅設備などは考えている。
- ⑥ 山手線にも他区で見習いを終えた運転士が転勤している。



- ☆ 各職場での詰所の移転・タブレット点呼への移行・泊地変更などにより「乗務員運用・折り返し時間・徒歩時間」の見直しが実施される。
- ☆ NEXの12両化に伴い、他支社との担当の持ち替えを行う。
- ☆ 隣接支社との行路の持ち替えを行う。
- ☆ 「中央線快速・緩行分離」で泊地変更・駅留置などを行う。
- ☆ ホームドア設置などにより表定時分の見直しを行う。
- ☆ 東京総合車両センターで車両配置が変更する。

列車の運行が変われば駅業務も変化するにも拘らず「労働条件の変更ナシ」の業種については『提案』されていません。拘束時間を延ばしてまで朝食時間35分を確保するとしておきながら「睡眠のための時間」と「食事のための時間」を“混在”させている現実は、看過することは出来ません。机上と現実のたたかい・「安全」と安全を担い守るたたかい・より良い職場より良い会社を創造するたたかいになります。もうひとがんばりお願いします!!!